

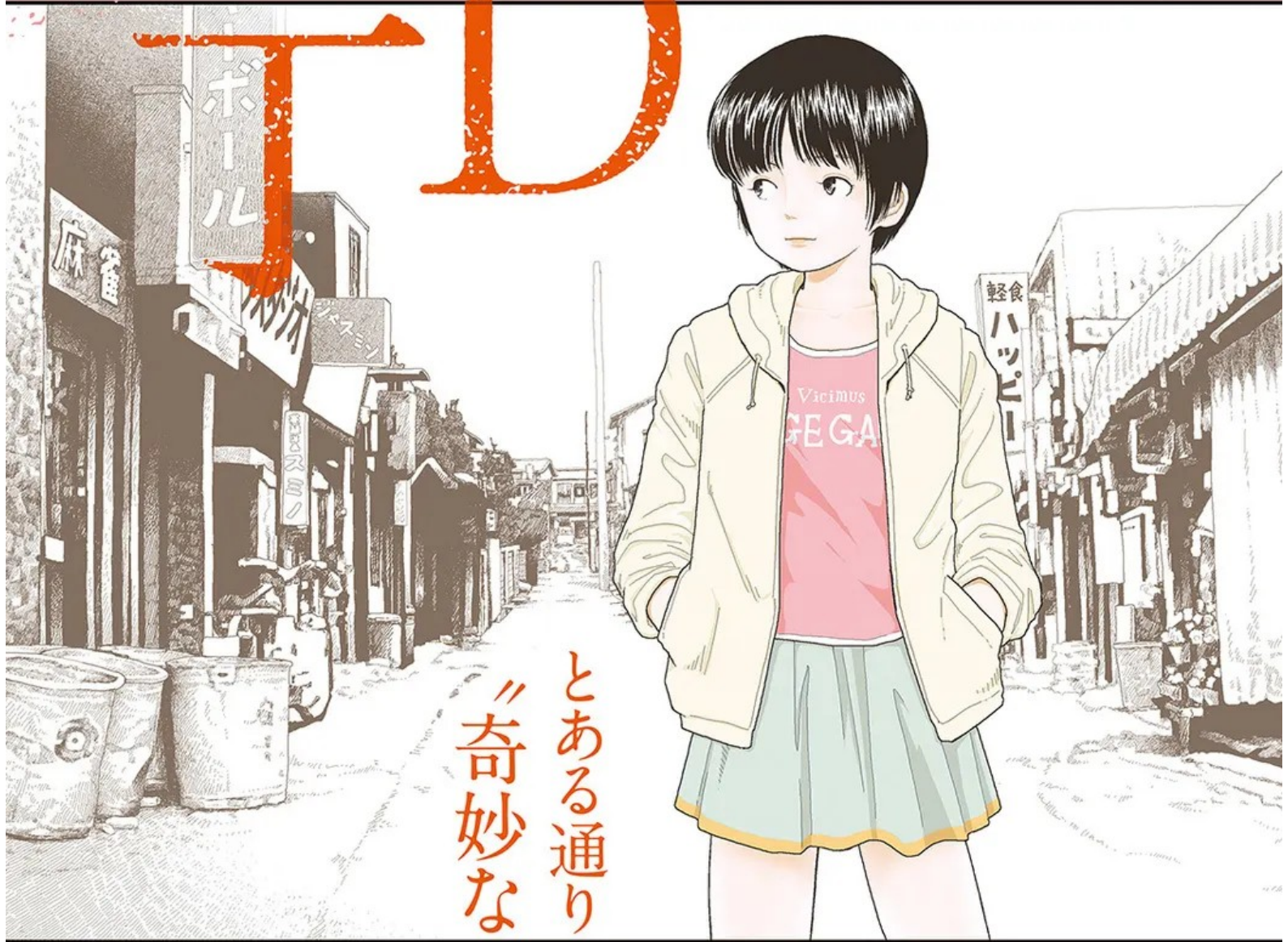
エロスのレジェンド、  
驚天動地の初登場!

# 山本直樹

Presented by Naoki Yamamoto

第1話

# 横丁



とある通りで生<sup>な</sup>った  
“奇妙な果実”





重さを持つ粒子は  
細かくギザギザに  
振動して動いてるの  
ギザギザにしか動けないの



またわかんない  
あたしもあたしの  
このスナックも  
光速で爆走中って  
こと？



じゃあなんで  
光は光速で  
飛ぶの？

重さを  
持つてないから  
まっすぐに  
飛ぶのよ



「なんでもかんでも  
みんな踊りを踊ってる」  
てのは  
そういうことなのよ

光速だけど  
光速でギザギザに動いてるから  
光速で動いているように  
見えないのよギザギザにしか  
動けないって性質が  
「重さ」ってことなのよ



ギザギザ  
にしか  
動けないって  
性質が  
重さって  
ことなのよ

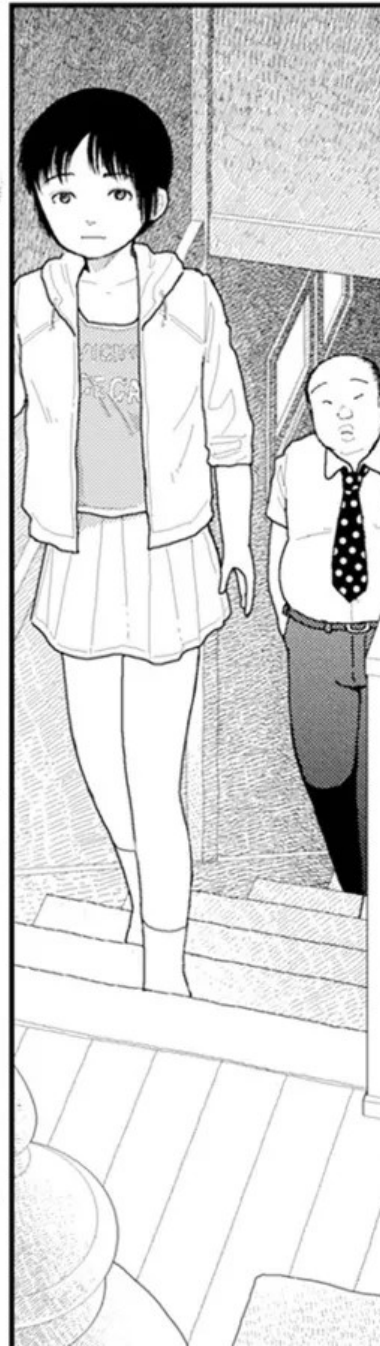
ギザギザにしか  
動けないって性質が  
重さってことなの？



重さを  
持つものは  
ギザギザにしか  
動けないのよ

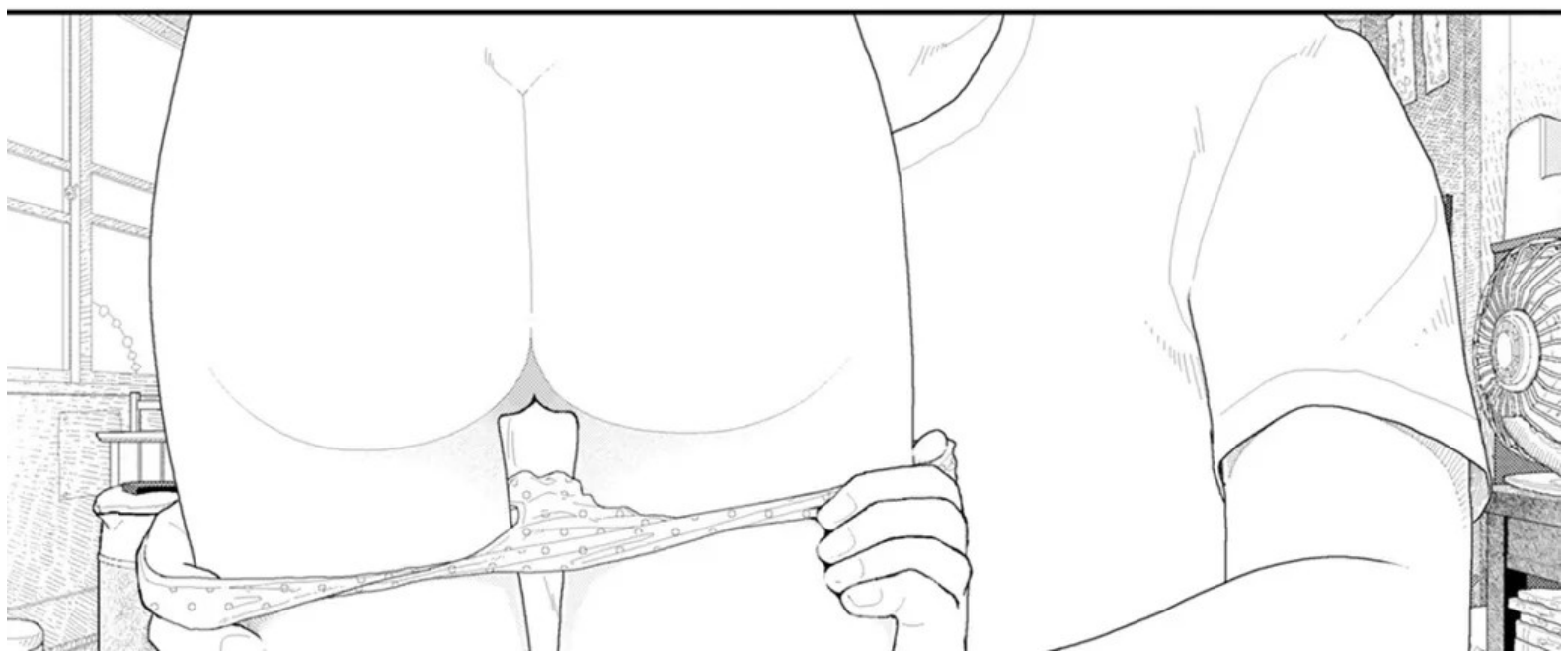
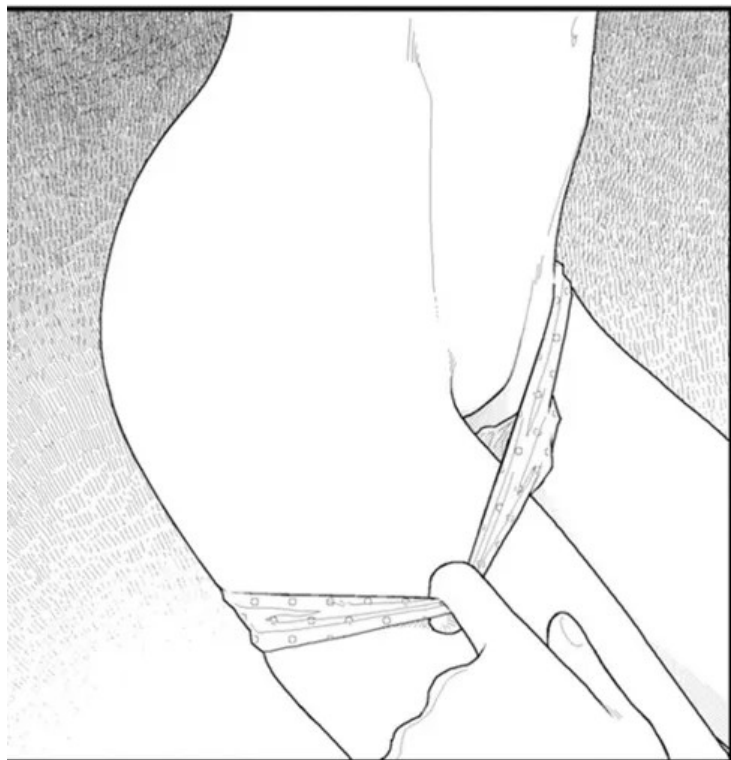
重さを持つものは  
ギザギザにしか  
動けないの？

















しゃぶつてると  
あたしもコーフン  
するから



ちやんと  
濡れてるんだね



あつ



いやいや  
ダシのきいた  
イイ味だよ



オシッコ  
臭くない？



入り口  
きついね  
大丈夫？



んむっ



： うん



はあ  
あ

はあ  
あ

はあ  
あ

はあ  
あ

くちゅ  
すちゅ  
くちゅ

君すごいね  
ぎゆうぎゆう  
絞めつけてくるね

最近やっと  
気持ちよくなる  
ポイントが  
わかってきたんだ



いやいや  
汗だくで  
やるのもまた  
なかなか



クーラー  
壊れてるん  
だって  
ごめんね



あっ

あっ

あっ

あっ

あっ

あっ

あっ  
あっ  
あっ

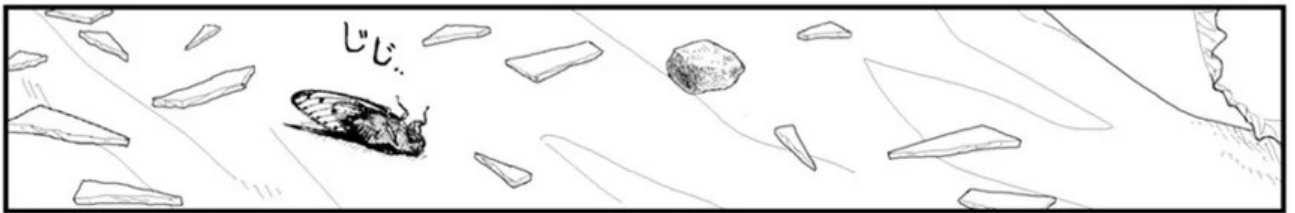






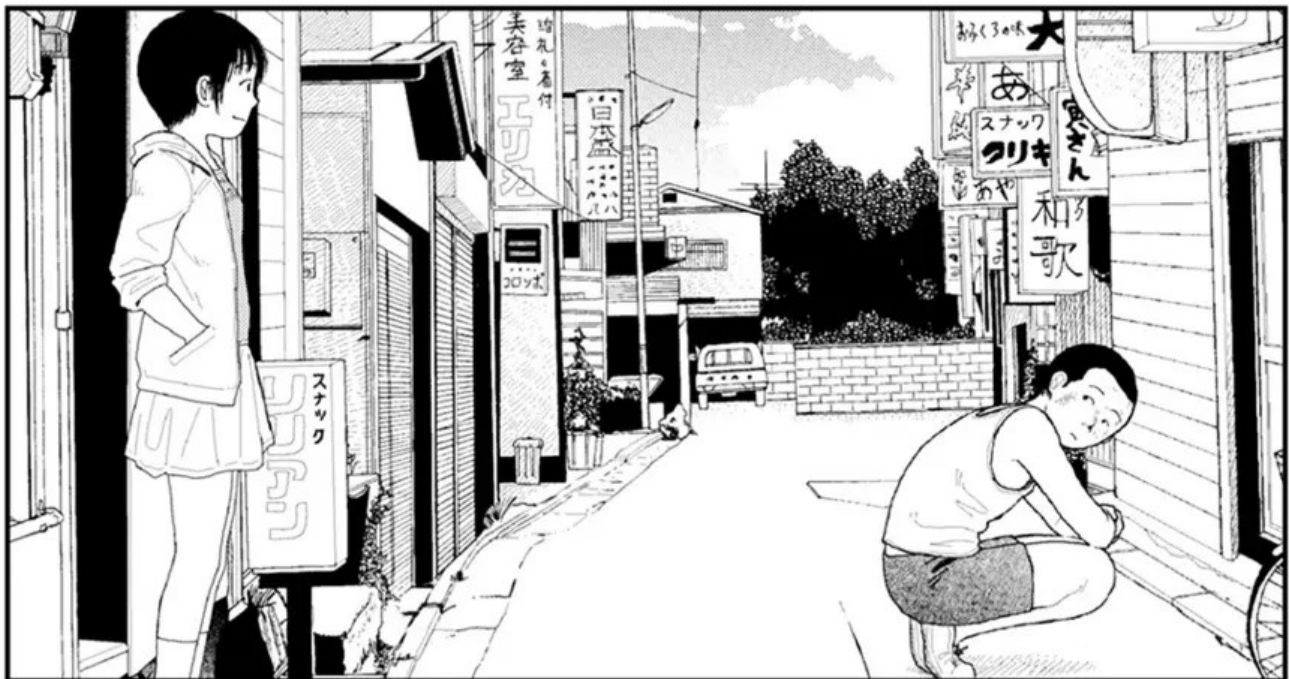












キャンデー  
おごるよ

一緒になめよう。

3号集中連載の2回目。

# LD横丁

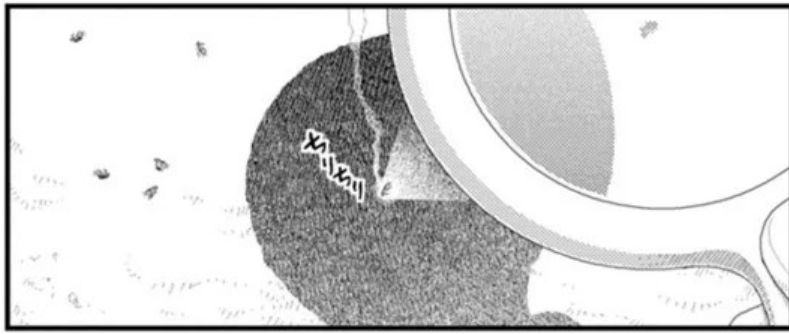
## 山本直樹

*Presented by Naoki Yamamoto*

### 第2話

公園でなにをして遊ぶ？





虫メガネ  
つてさ  
近くのもの  
大きく見える  
でしょ

うん

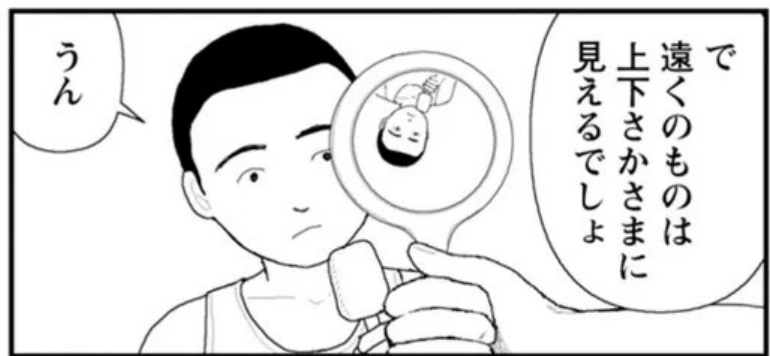


いいのいいの  
やっちゃん  
は  
お金いいの

えー  
いいのー？  
おばちゃん  
いつも  
ありがとうー

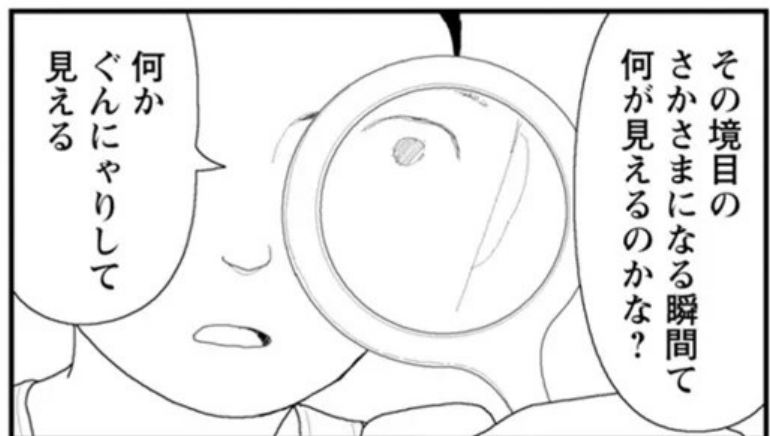


それは  
虫メガネの  
わずかな歪みの  
せいでしょ 完全に  
歪みのない虫メガネ  
だったら  
何が見えるか？  
っていう話よ



うん

で  
遠くのもの  
は  
上下さかさまに  
見えるでしょ



何か  
ぐんにやりして  
見える

その境目の  
さかさまになる瞬間で  
何が見えるのかな？

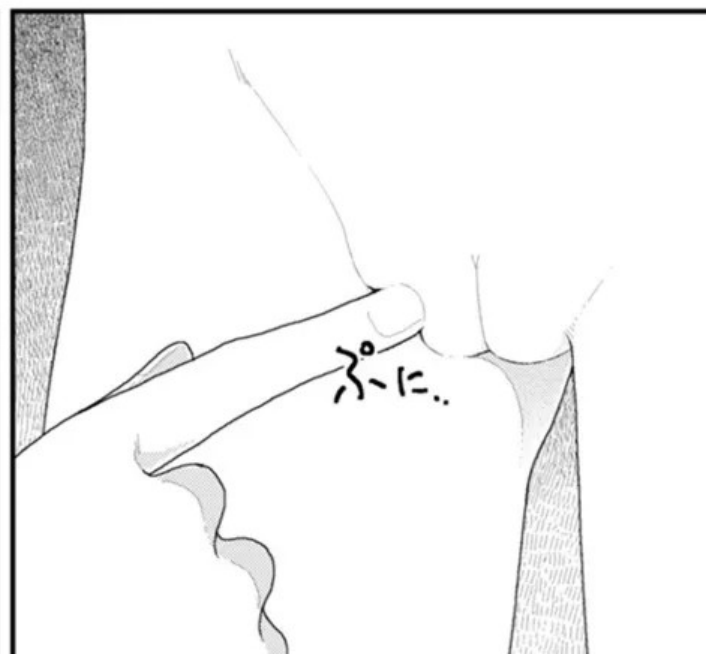
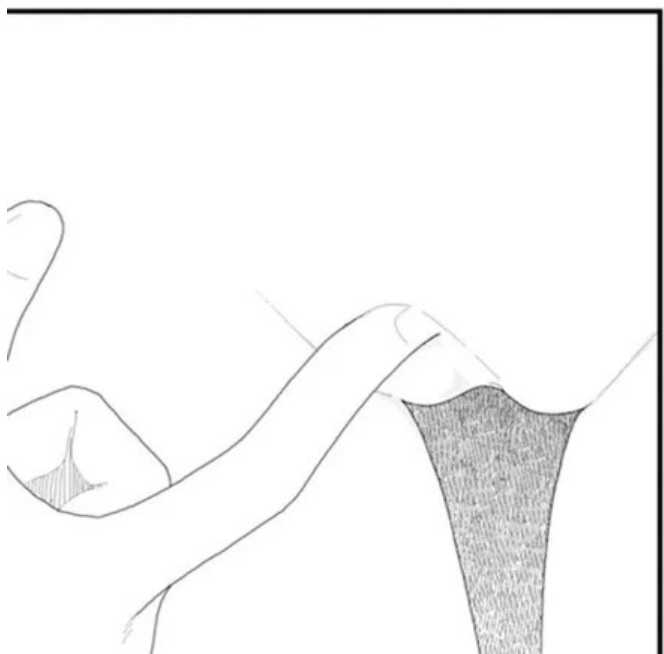
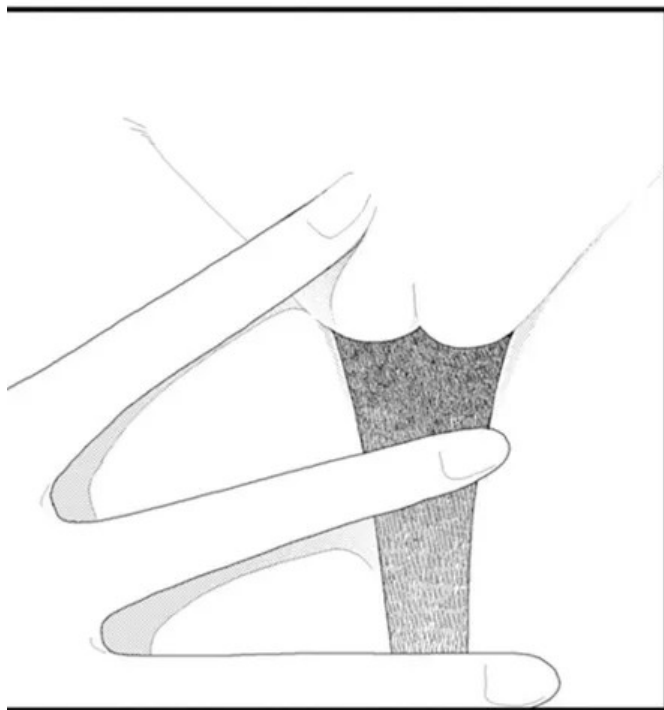


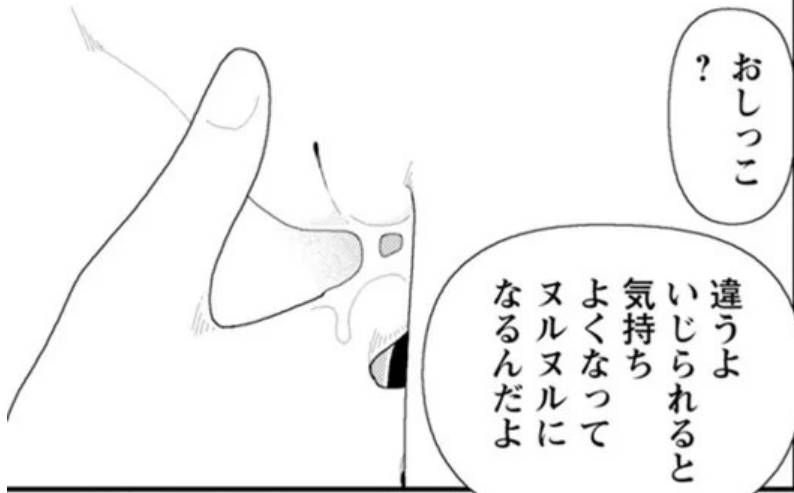












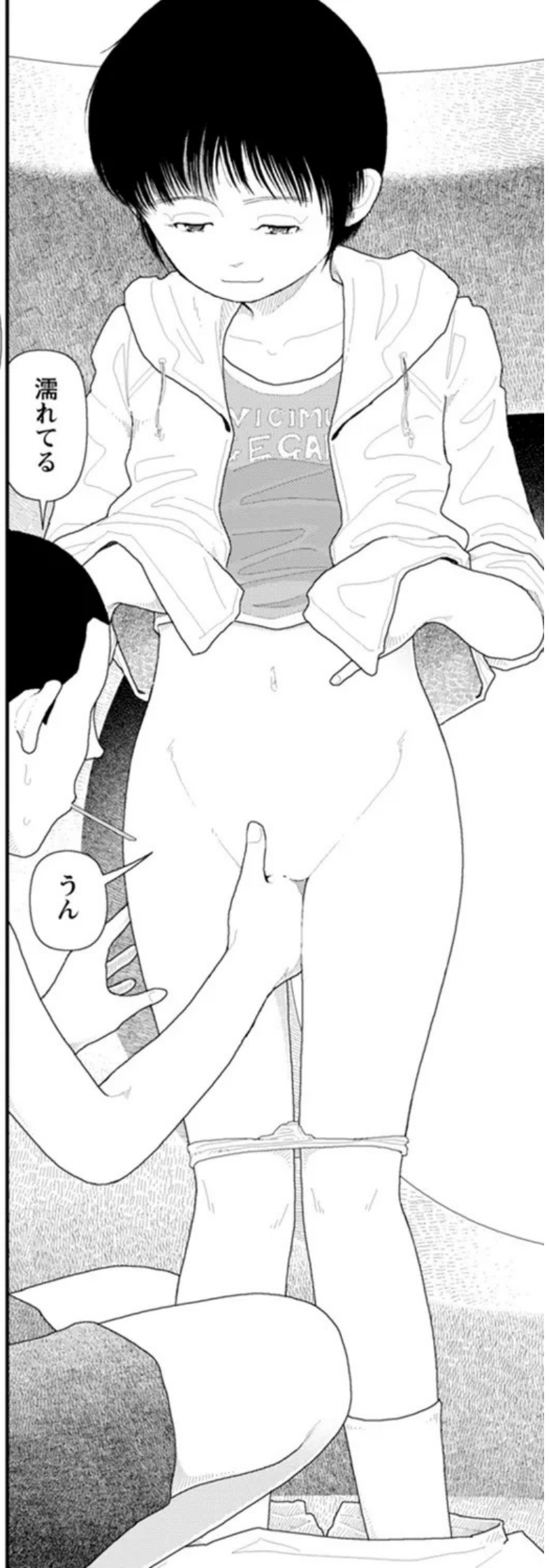
おしっこ  
?

違うよ  
いじられると  
気持ち  
よくなつて  
ヌルヌルに  
なるんだよ



さわられると  
気持ち  
いいの?

すごく  
気持ち  
いいよ



濡れてる

うん



うーん  
このへん全体  
かな？

どこから  
ヌルヌルが  
出てくるの？



あっ

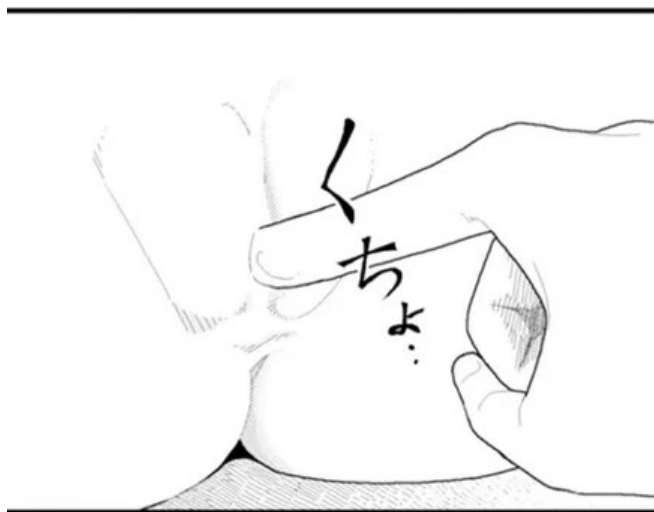


ここ？

ちゃん

この豆粒みたいなのが  
一番気持ちいいところ

ここが  
オシッコの  
出るところで





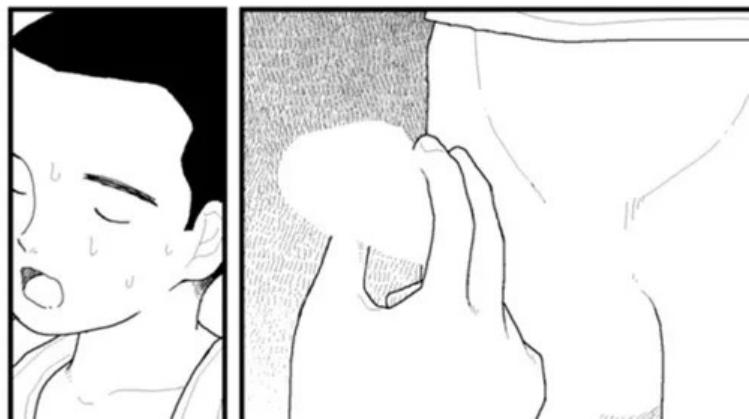


気持ち  
いい？

うん  
……



ねえ  
たくら  
田口君の  
オチンチン  
さわらせて





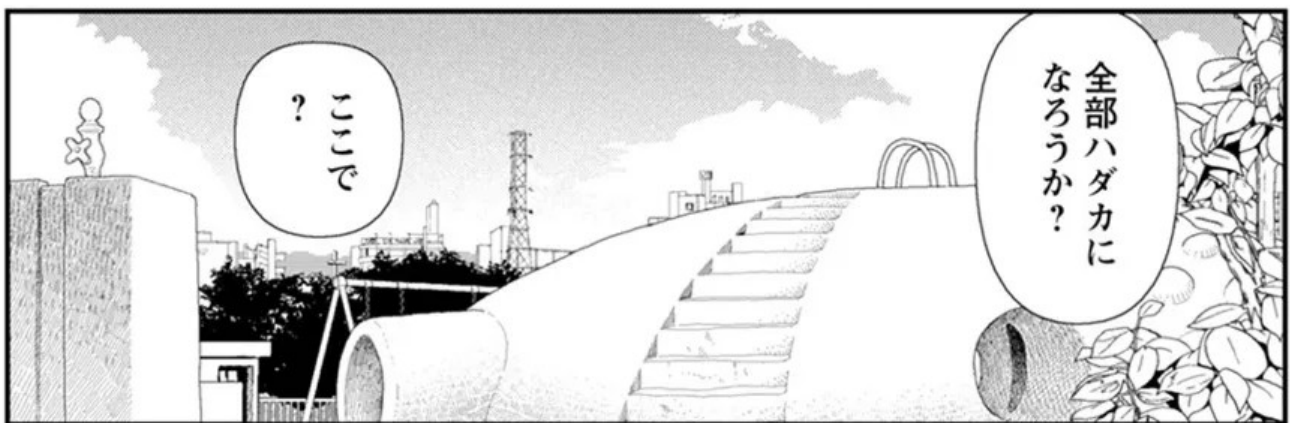
だい  
じょうぶ



よ  
きたない







開放しましょう。

3号集中連載最終話。

# LD横丁

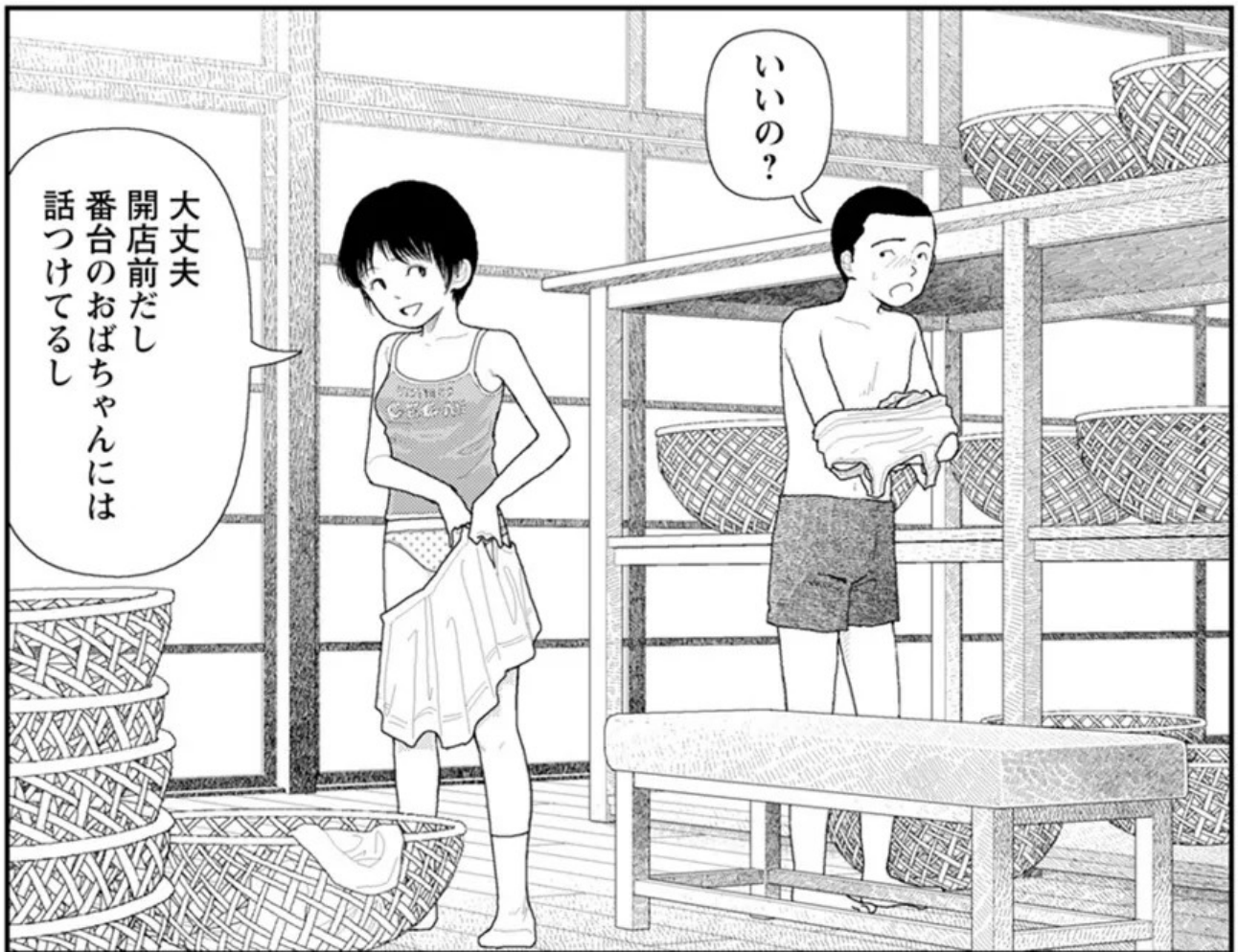
第3話

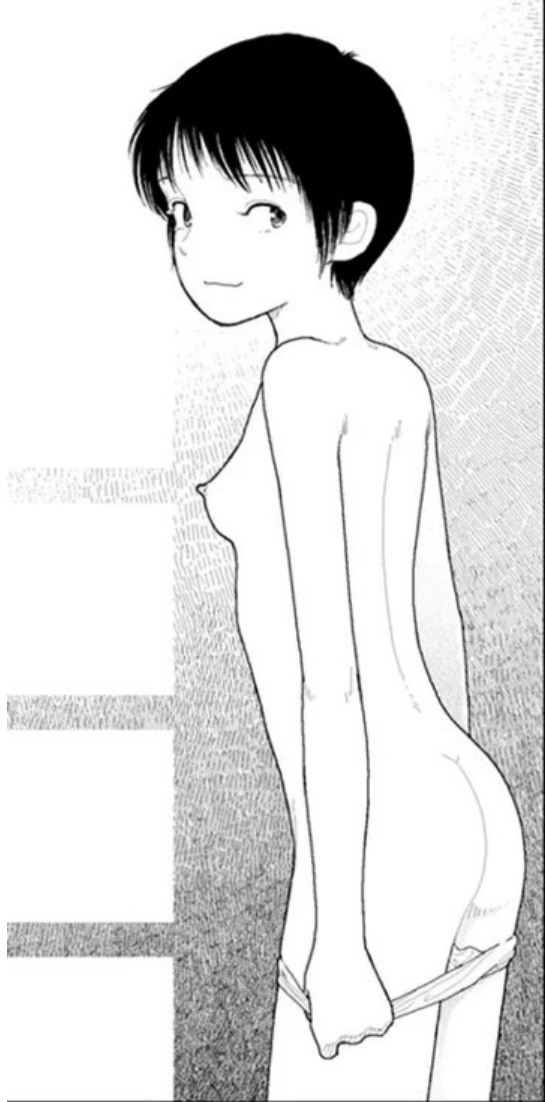
汗を流す場所で  
汗をかきましよう。

山本直樹

Presented by Naoki Yamamoto

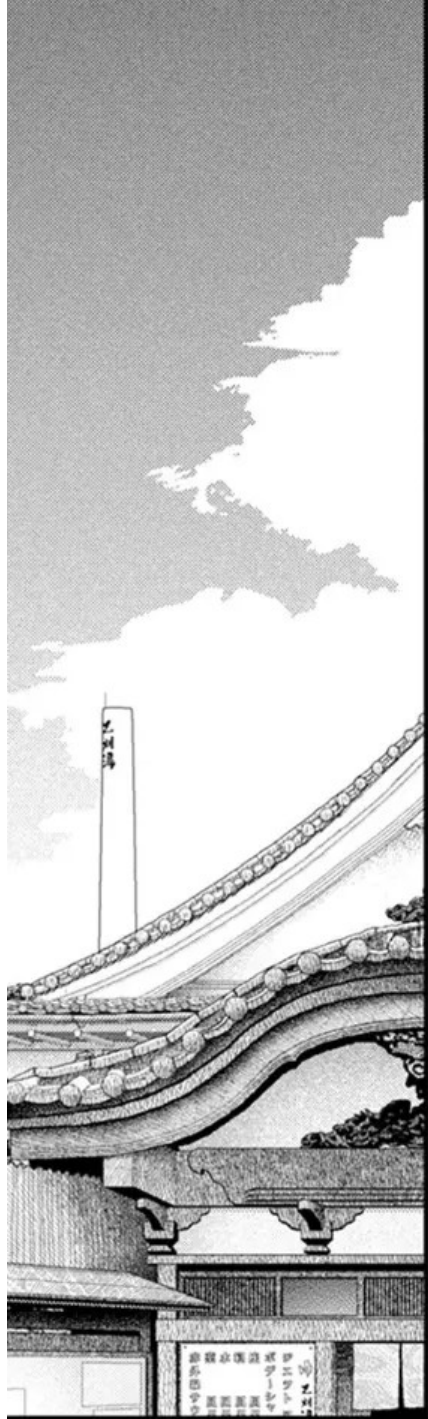


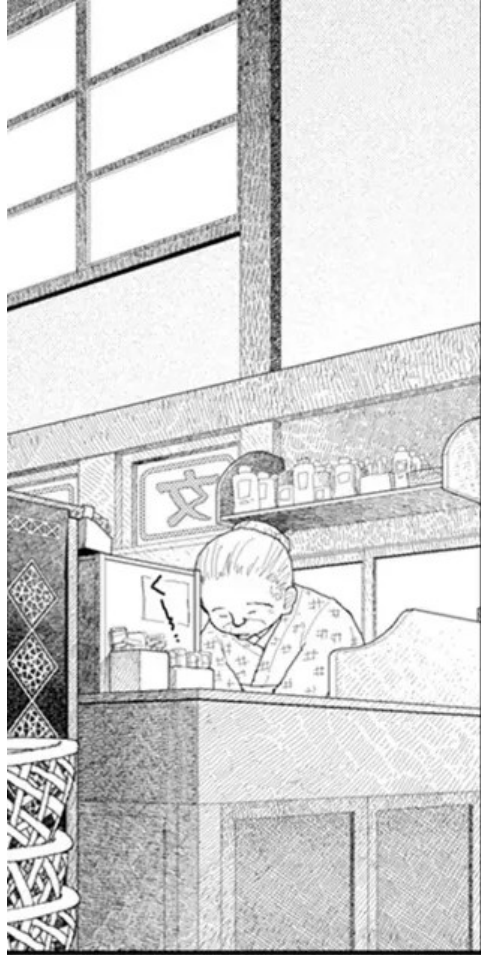








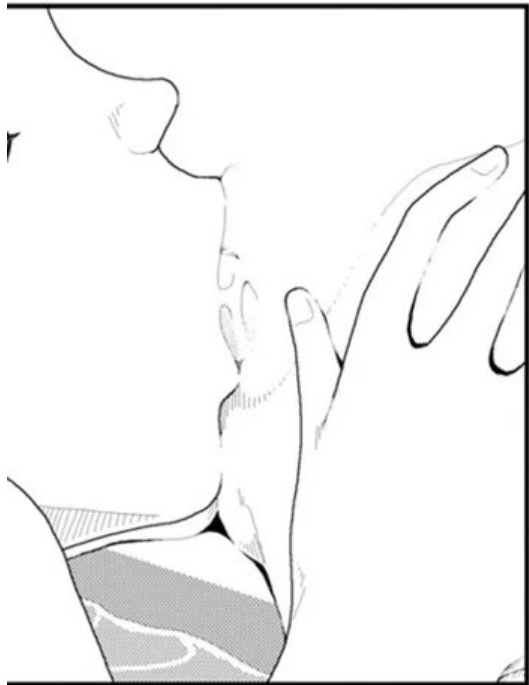




美容室 111-1212  
北口商店  
安見さん  
学校来ないのに  
なんで知ってんの？  
田口君  
夏休み前に  
転校したんじゃ  
なかったっけ？  
道で  
クラスの子が  
言ってた



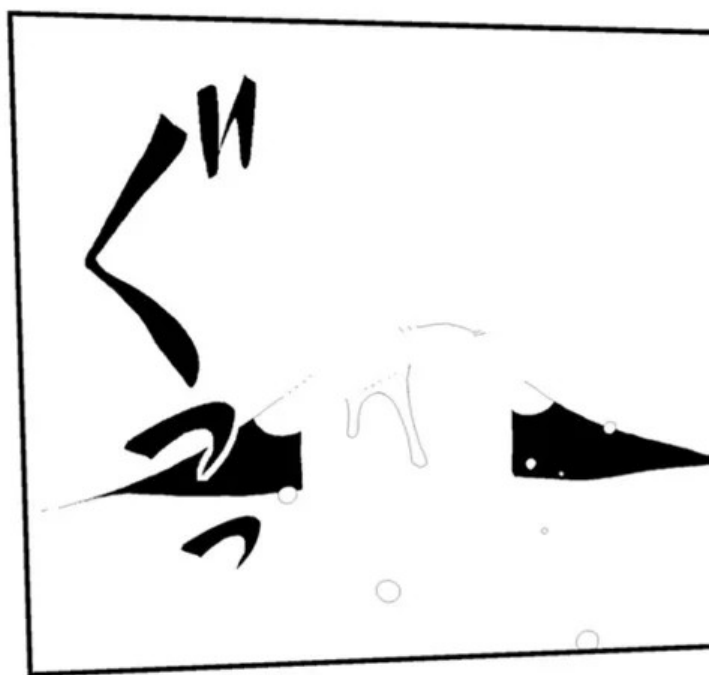
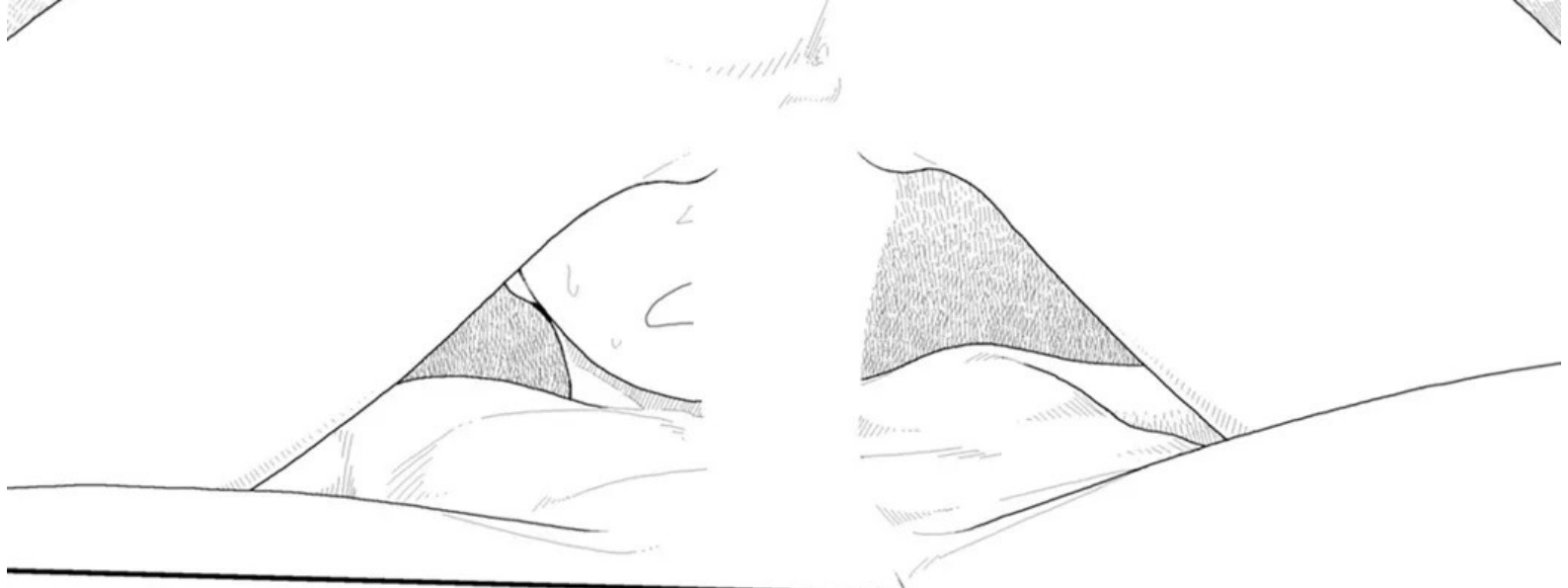








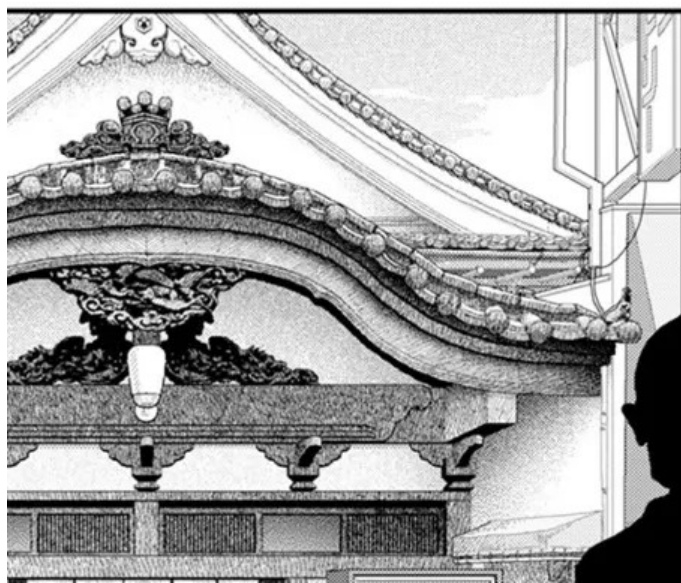




あ  
あ  
あ

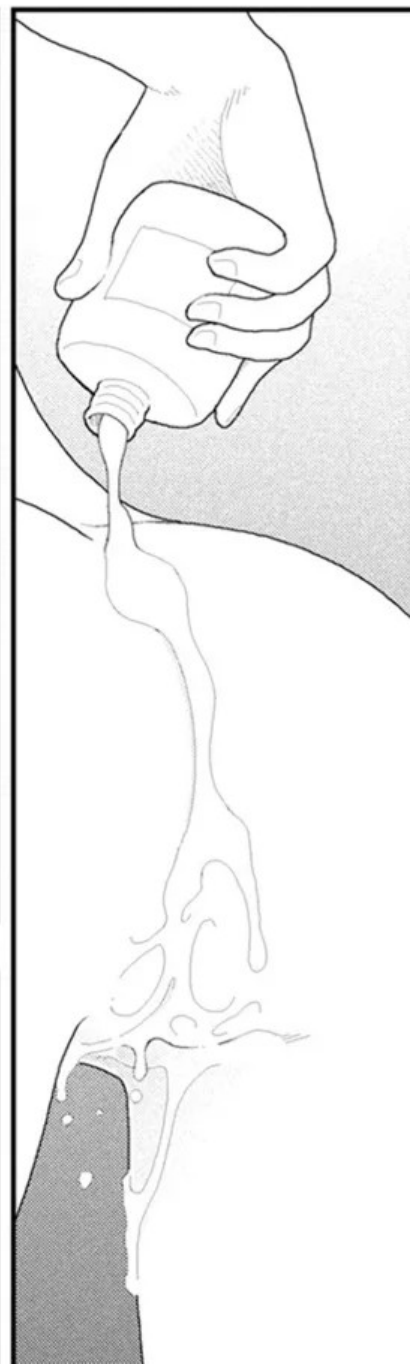
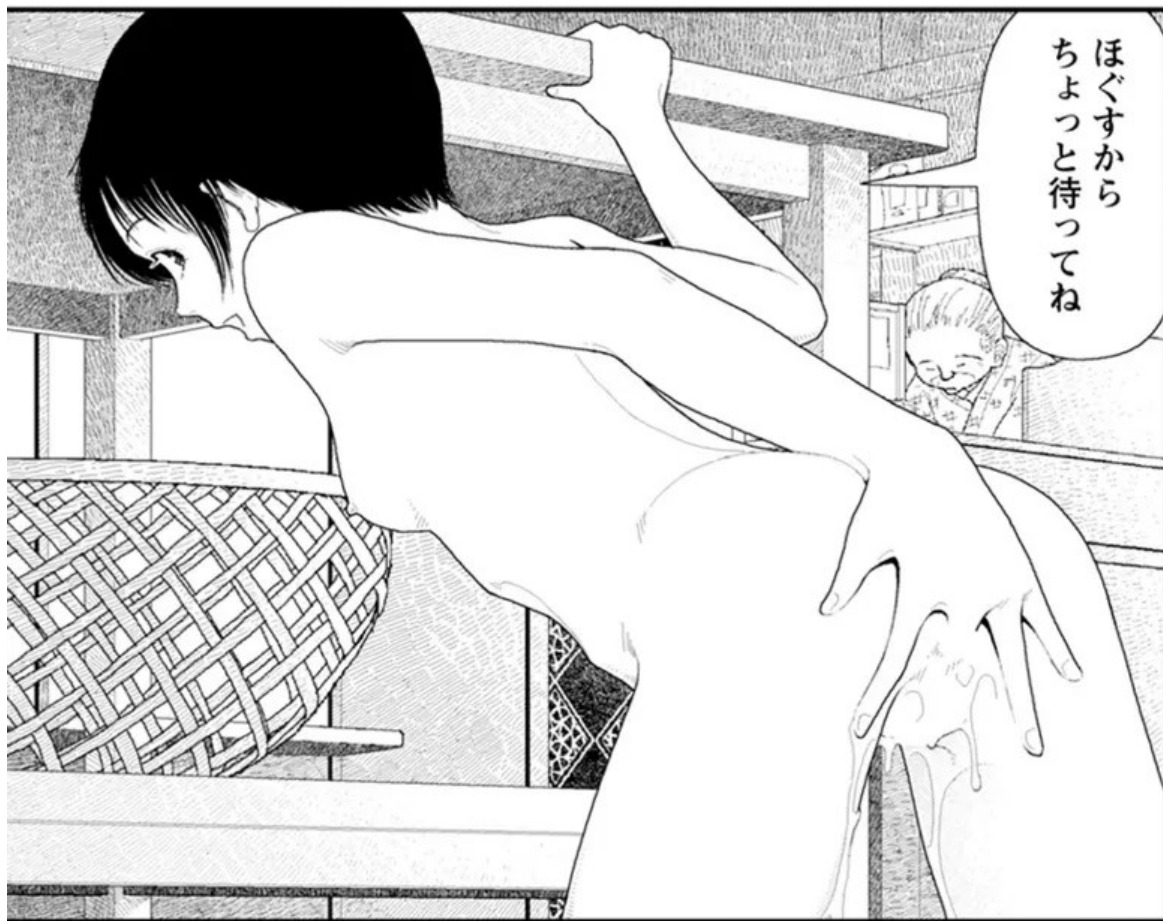












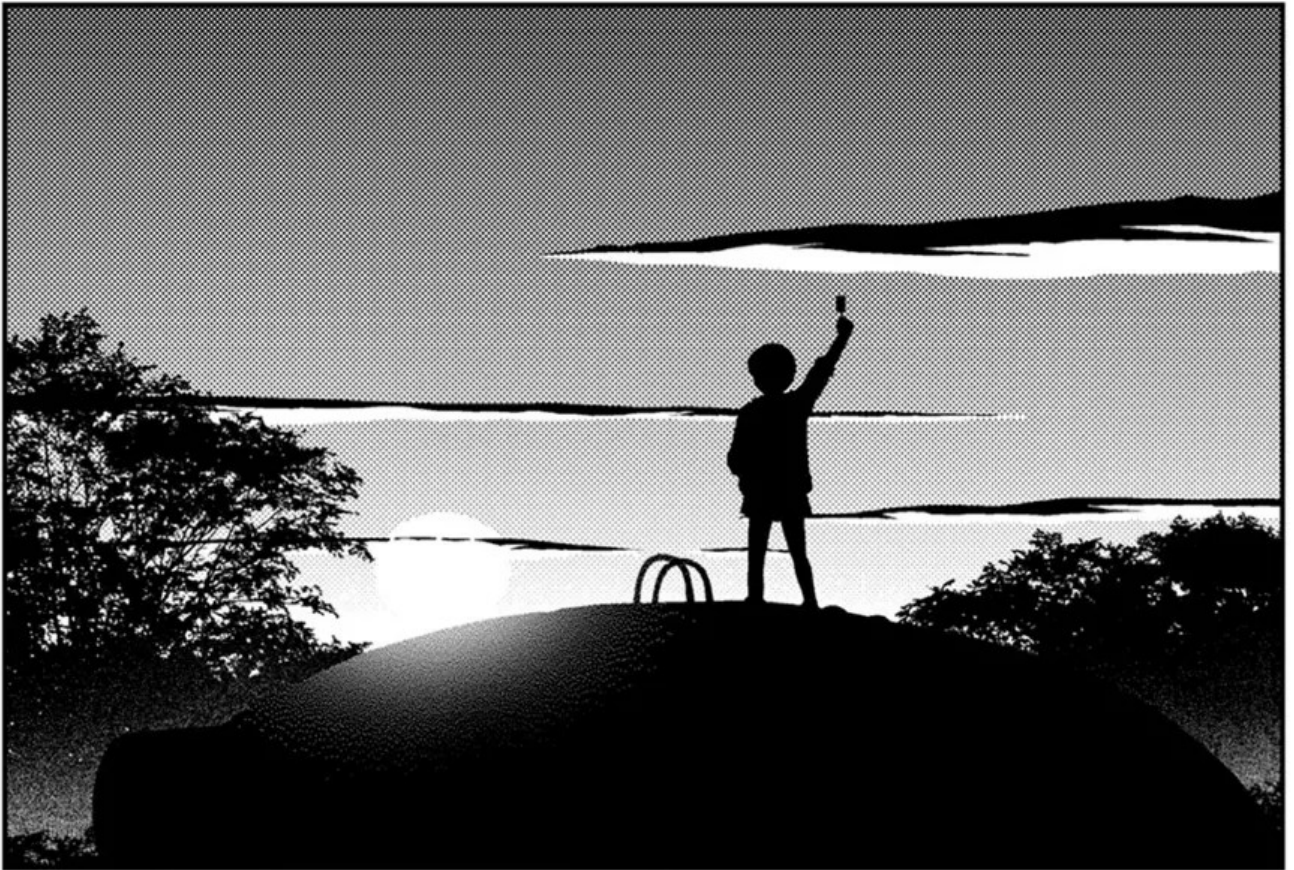







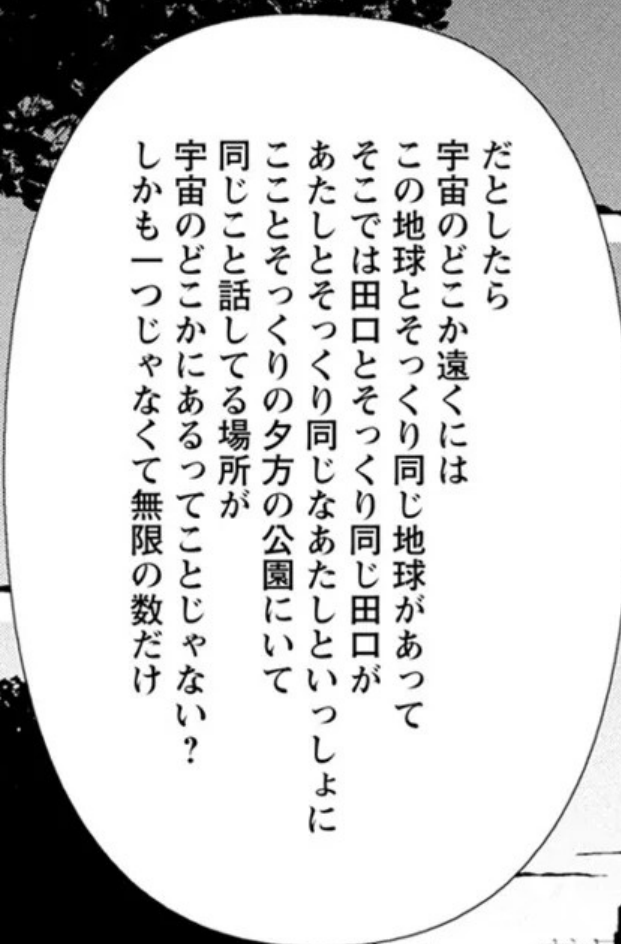









宇宙が無限に  
大きいんだとすると  
無限の宇宙の中には  
分子の組み合わせとか  
無限に無限の数だけ  
あるわけでしょ？



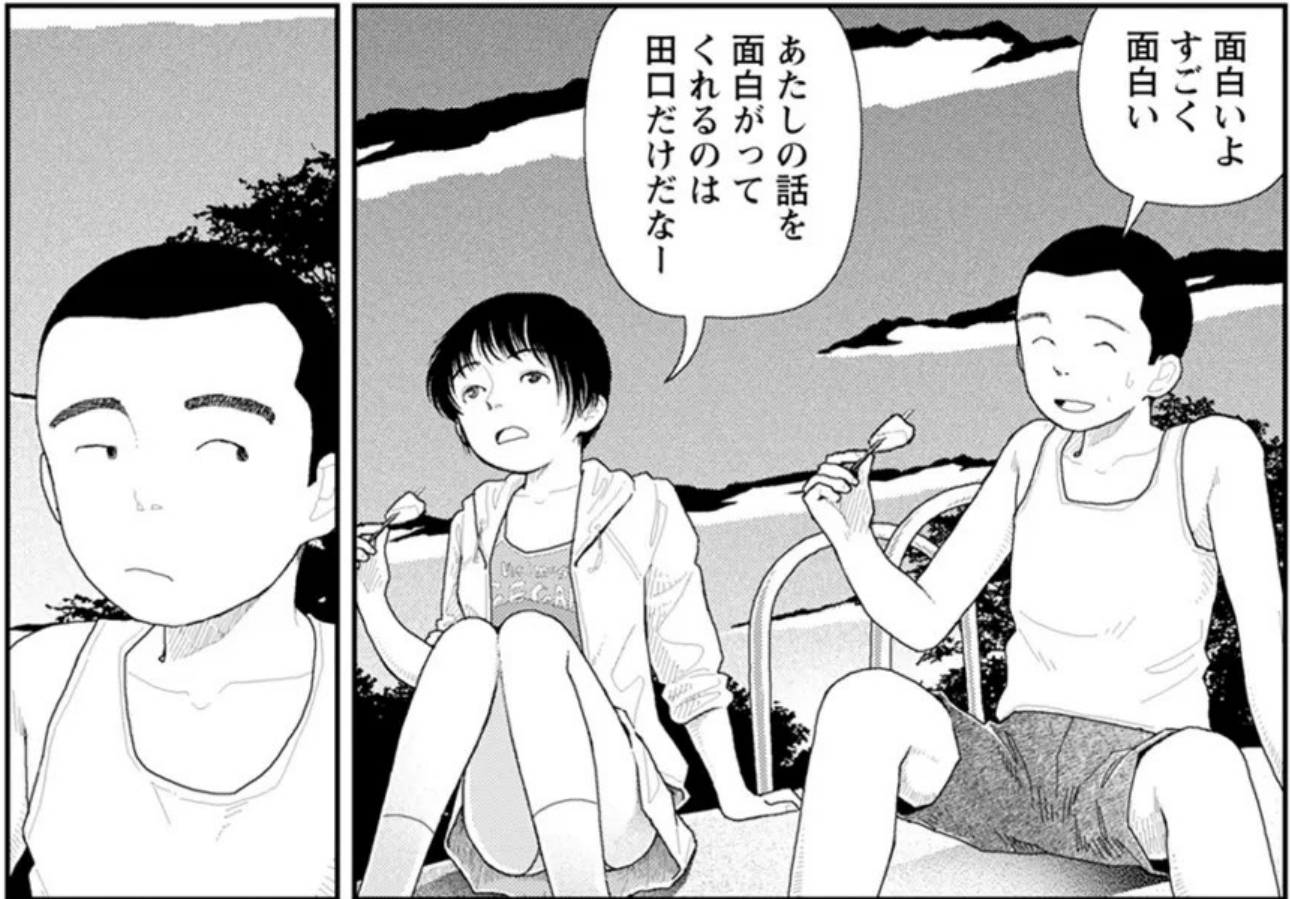
だとしたら  
宇宙のどこか遠くには  
この地球とそっくり同じ地球があつて  
そこでは田口とそっくり同じ田口が  
あたしとそっくり同じあたしといっしょに  
ことそっくりの夕方の公園にいて  
同じこと話してる場所が  
宇宙のどこかにあるってことじゃない？  
しかも一つじゃなくて無限の数だけ



宇宙って  
無限なの？

それはよく  
わかんない  
けど







君  
面白いこと  
言うね



安見さんも  
いっしょに  
引越す宇宙だと  
よかったのにな



あやまること  
ないじゃん

ごめん

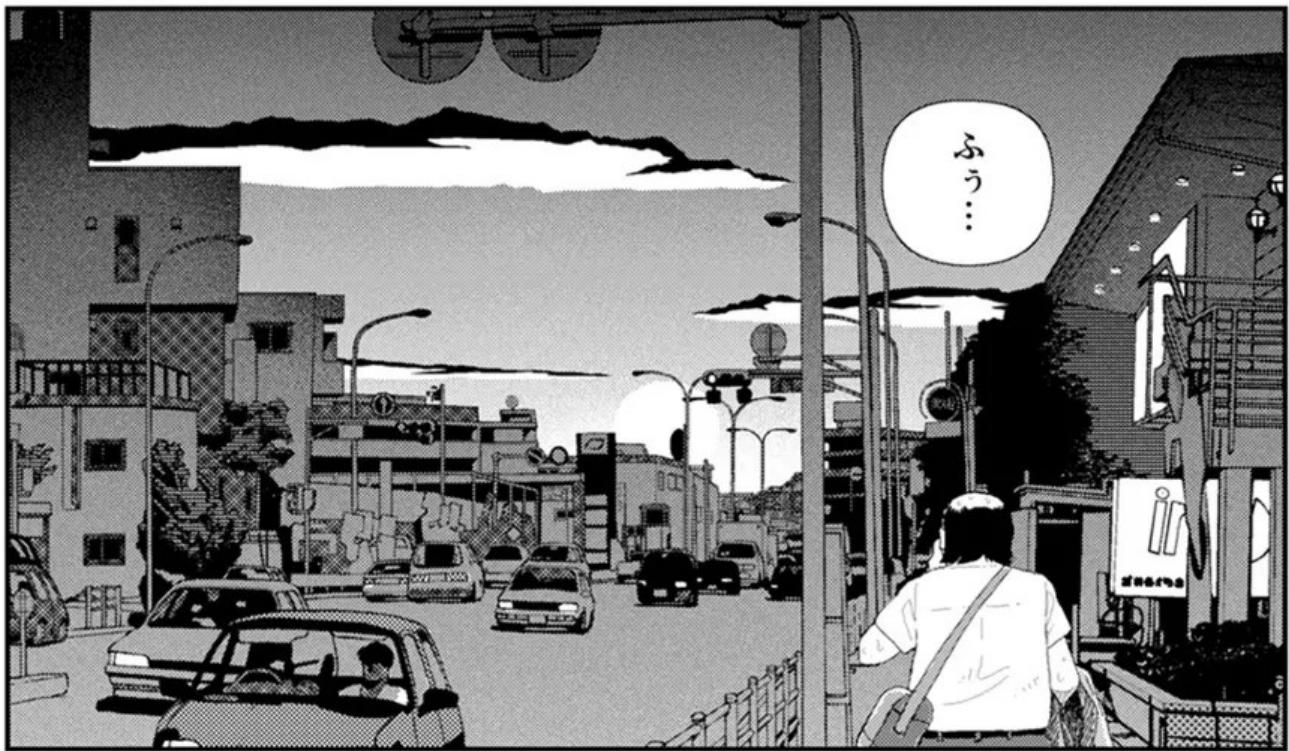


安見さん  
いなくなったら  
この街のみんな  
困っちゃう  
もんね





山本直樹先生の次回作にご期待下さい!!



◎おしまい